

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長のほっぺ!! コラム

市長 佐竹敬久



冬をたくましく

今年も暖冬と思いきや、お正月は白一色の雪景色となり、久々に秋田らしい冬となりました。

一月十日の成人式も、ここ数年では最も寒い日となりましたが、寒さにもめげず、本市でめでたく新成人となった三千五百十人の七九歳にあたる二千七百五十八人も参加の中で、騒ぎもなく整然と執り行うことができました。あらためて、秋田の若者は健全に育っていて、頼もしいとの感を強くしました。

翌十一日は、いよいよ河辺町・雄和町との記念すべき合併の日です。午前中には吹雪まじりの寒い中で、旧役場が衣替えした河辺市民センター、雄和市民センターの開所式などを行い、午後には、いよいよ拠点センター「アルヴェ」で、新たに秋田市民となった河辺・雄和地区の小中学生たちの参加もいただき、簡素な中にも晴れやかに新生秋田市のスタートを切ることができました。

さて、私の子ども時分の冬を思い起こしてみますと、薪ストーブやコタツのある居間が唯一の少しばかり暖



鼻水を垂らしながら、千秋公園のお堀でスケート（昭和30年代）

かい場所で、あちこちの隙間からは風雪が吹き込み、朝には洗面所のタオルが凍結してしまいましたので、冷え込んだ日には室内でも零度以下となり、息が白く見えるのが普通の家の姿ではなかったでしょうか。

放課後や休日には、家の中でじつとしておるとかえって寒いので、逆に外に出て、鼻水を垂らしながら、手をかじかませながら、雪合戦や雪だるまづくりなどで、頭から湯気が出るほど遊び回ったものです。

スキーモリフトが出現するまでは、近場の山が自然のスキー場となり、フウフウ息を切らしながら歩いて登り、滑り降りるのは一瞬でした。

しかし、今思えば楽しい思い出ですし、自然に雪国で暮らすための体力と適応力が身についた気がします。寒いからこそ、温かい納豆汁や焼餅が、このうえもなく美味しいものを感じられました。

吹雪の中、学校に近道しようとして、田んぼの雪原を進むうちに雪をかぶった用水路に落ち込み、全身水浸し、着衣をガチガチに凍らせながら学校にたどり着き、用務員室で裸になり体を温め、衣服を乾かしたことも幾度となくありました。今してみれば、よく死ななかったものだとも思いますし、家に帰って話しても、「バカ、おまえの注意が足りないからだ」の一言で片づけられました。快適なこと、暖かいこと、安全なこと、すべて良いことです。しかし、人間の生命力という視点からは、文明の進化とともに失うものもあることは否定できないように思えます。





会合の疲れもすっきり！旭北コミセンで

コミュニティセンターに宝くじからプレゼント

(財)自治総合センターから、宝くじの収入をコミュニティ活動の発展に役立ててほしいと、旭北、港北、明德、東、外旭川、大住、勝平の各コミュニティセンターに、合わせて250万円の助成がありました。

各コミセンでは、折りたたみテーブルやマッサージ機などを購入。より充実した地域活動が期待されます。



目録の贈呈式で

東北電力から懐中電灯の寄贈

昨年、台風の影響による停電が相次いだことを受け、東北電力(株)秋田営業所から懐中電灯2,000個をご寄贈いただきました。

この懐中電灯は、いざというときのために、非常用備蓄品として活用させていただきます。ありがとうございました。



緑化功労者のみなさん

緑あふれるまちづくりに尽力

昨年12月22日、市役所正庁で、秋田市緑化功労者表彰式が行われました。

表彰を受けたのは、「緑の募金」や花だんの整備などに長年携わり、地域の緑化に貢献された26人のかたがたです。

エコアちゃんの環境貯金箱

12月は貯金が大きく増えました！

目標達成に向けて



秋田市ごみ減量イメージキャラクター「エコアちゃん」

昨年12月末現在の環境貯金は**307万1千円**

広報あきた11月26日号で特集した環境貯金箱大作戦の12月の結果が出ました！ 12月の家庭ごみなどの量は、基準年(平成14年)と比べてなんと683トも減り、11月末の貯金額から79万4,000円も増えました！

冬期間は、生ごみなどが少なくなる時期。ここで頑張っ、今年度の目標(ごみ減量4,000ト、貯金額460万円)を達成したいものです。それにはもちろん、みなさん一人ひとりのごみ減量の工夫がとっても重要！「生ごみは水気を切る」古紙リサイクルの徹底」などに、引き続きご協力ください。

12月の家庭ごみなどの量

| | 基準(H14) | 目標 | 実績 | 基準との比較 |
|--------------|---------|--------|--------|--------|
| 12月 | 10,245 | 9,923 | 9,562 | △683 |
| 4月～12月 累計 | 98,763 | 95,661 | 96,101 | △2,662 |

* 御所野の総合環境センターで焼却・溶融したごみの量(資源化物を除く)

環境貯金箱...秋田市では、昨年4月から、市民一人ひとりがごみ減量に取り組み、節約したごみ処理経費を環境のために有効利用する「環境貯金箱大作戦」を進行中です。貯金額は、総合環境センターにおける消耗品費分をお金に換算したものです。河辺、雄和のみなさんも、ごみ減量、できることから始めよう！ よろしくお祈いします。



古紙の山に埋もれそう！



このダンボールがまた紙の原料となります

リサイクル追跡隊！

古紙分別って大事だね

1月12日、小学生とその保護者ら31人による「リサイクル追跡隊」が、

古紙が生まれ変わる過程を見て回りました。

資源化物として出された雑誌などが分別される様子や古紙を溶かして紙の原料にする工程などを見学。工場の人から「古紙の中にビニールなどのごみが入っていると再生紙を作るのが大変。古紙の分別はしっかりして」という説明に、熱心にメモをとっていました。

紙の原料は、日本では40%が木材で、なんと60%が古紙なんだそうです。リサイクルの大切さを実感！